

の広報紙やWebサイトで、適宜、啓発を行っています。22年2月には広報紙で自殺対策特集を組む予定です。

Webサイト

<http://www.city.adachi.tokyo.jp/007/d05200032.html>

足立区衛生部衛生管理課計画調整 木村 弥生

電話番号 03-3880-5891

Eメール e-kanri@city.adachi.tokyo.jp

参 考

自殺防止のためのワークショップの開催

内閣府では、平成21年度より、自殺防止活動を行っている特定非営利活動法人国際ビフレンダーズ東京自殺防止センターの協力を得て、自殺防止のためのワークショップを開催しています。ワークショップは、ロールプレイを中心に、自殺を考えるほど絶望している人の訴えを「聴く」ための実践的な訓練を行うもので、平成21年度は全国6か所(札幌市、東京都、長野市、大阪市、堺市、福岡市)で、1日コースと2日間コースを開催しています。

〈1日プログラム(例)〉

09:30～10:20	オリエンテーション
10:20～10:40	感情に焦点をあてて聴く
10:50～12:00	人はどんなときに死にたくなるのか
12:00～13:00	休憩(昼食)
13:00～14:00	実習1
14:00～15:00	実習2「死にたい気持ちを尋ねる」
15:15～16:30	実習3「死にたい気持ちを尋ねたあと、どうするか」
16:40～17:20	本日の振り返りとまとめ
17:30	解散

ワークショップでは、「感情に焦点を当てる」ということや、「人との向き合い方」を学びます。

〈全体での自己紹介の様子〉



〈全体説明の様子〉



グループワークでは、人はどのような時に死にたくなるのかをグループで考えます。

〈グループワークの様子〉



その後、小グループに分かれてロールプレイ実習を中心とした体験学習を行います。

〈デモロールの様子〉



〈ロールプレイ実習の様子〉



ロールプレイ実習では、相談員と相談者（死にたくなっている人）、観察者の役割を取り、相談場面を作りながら学びます。この学習方法はそれぞれの感情が表に出てくるものですので、十分な配慮のもとに行われるものであり、簡単に出来るものではありません。

自殺を考えるほど絶望している人の話を実際の現場で聞くことは、人と人との向き合い方そのものであり、知識や想像だけでは対応しきれない部分があります。内閣府では、こうした実践的なワークショップを今後も開催していく予定です。

内閣府自殺対策推進室

3 民間団体の電話相談事業に対する支援

自殺をはじめとする精神的危機にある人たちに対して、電話等の手段で対話することを目的とする団体として、「いのちの電話」や「大阪自殺防止センター」、「東京自殺防止センター」などがある。

このような団体の活動は、英国等において

50年以上の歴史を有しているが、「いのちの電話」は、日本においては昭和46年10月1日に「いのちの電話（東京）」として発足し、48年に社会福祉法人として認可を得ている。その後東京英語、関西、沖縄、北九州に設立され、昭和52年には日本及び海外における電